

8月6日 新たな地元の魅力を発信 ～新作クラフトビール開発！～

【東濃森林管理署】

8月6日、東濃森林管理署へ中津川市内でクラフトビールを醸造している中津川BREWERY代表の堀川様と、東京科学大学の関口様が取材に来てくださいました。

中津川の山や森林は、地域を象徴する身近な風景である一方で、そこで暮らす人々は普段どのように働き、生活しているのかということとはなかなか見えづらいものがあります。今回の取材は、単にこの自然や森林をイメージしたビールをつくるのではなく、実際にこの中津川の森林を守ってきた方々から豊かな森林がどのような歴史や人々の管理の元で成り立ち、今現在まで育まれてきたのかを取材し、この森林を取り巻く歴史や文化、環境、人々など様々な背景をビールの味、香り、色、物語へ置き換えることを目指した企業と大学のコラボビールの企画を目的としたものです。

中津川市を支える主要産業であった「林業」やそれらに携わってきた人々について、このようにスポットを当てて取組むと言うものは前例もなく、新たな切り口からPRしていただけるものとして大いに期待しています。当日は、署より裏木曽地域の木材搬出の歴史や実際の森林施業の状況について、署に保管されている昔の資料等も交え説明をしました。



中津川BREWERYで醸造されるクラフトビール

本来であれば、実際の森林の中で施業やその成果を見ていただきたかったのですが、時間の都合もあり室内での説明となったので、特にこの地域を語るうえでは外せないヒノキ林をイメージしていただくため、ヒノキの精油のにおいを体験していただくなど、今後のビールづくりの参考になるよう工夫しました。

今から実際に、どのようなビールが出来上がるのか興味津々です。東濃森林管理署では、地域振興に寄与するこうした取り組みへも積極的に関わりをもって参ります。

新作クラフトビールの発表は11月を予定されているそうです機会がありましたらご賞味ください（ちなみに、中津川の日常風景である恵那山、付知峡の清流コバルトブルー、中山道の旅人が宿場でホッとするひと時をイメージした3種の風景ビールは既に同社より販売されています）



中津川BREWERY 代表取締役 堀川 氏

NAKATSUGAWA BREWERY

〒508-0033

岐阜県中津川市太田町3丁目7-2

<https://nakatsugawa-brewery.jp/>